

# 平成 26 年度 研究計画書

## Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ講座Ⅱ 准教授
氏名 Name	松本健二
専門分野 Academic Field	ラテンアメリカ文学

### 平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	チリにおける反詩の系譜：ニカノール・パラとエンリケ・リンの文学に関する総合的研究				
研究計画 Research Plan	<p>上記基盤研究C（平成 26～28 年度）の初年度にあたって、研究計画調書の研究計画に記載された通り、チリの詩人ニカノール・パラにおける反詩の実践とその影響を分析する。</p> <p>まずその前提としてパラによる批判の矛先となったパブロ・ネルーダが 1954 年当時のチリ文壇にあつてどのような位置を占めていたのかを整理し直す必要がある。そのうえで先行研究に基づいてパラの『詩と反詩』が生まれた経緯をネルーダとの比較から検討し直し、オリジナルの反詩が現れたメカニズムを原理的に解明、これをなんらかの媒体に研究論文として投稿する。この研究にあたって必要な資料はある程度揃ってはいるが、7～9 月にかけて不足していると判明した資料等を国内で収集、さらに 3 月にチリで収集する。</p> <p>年度後半にかけては、パラの 1970 年代以降の主に視覚芸術分野での創作活動、さらには若手詩人たちとの交流、他の詩人の作品に投稿した序文等、「反詩」を世に送り出して以降のパラがどのようにチリ・カウンターカルチャーのなかで重鎮の座を占めていくようになったのかも検討、なんらかの形で論文化する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	ヨーロッパ 文学	美学・芸術諸学	文学一般		
キーワード Keywords	ラテンアメリ カ文学	アヴァンギャルド	チリ文学	カウンターカルチ ャー	視覚詩